

長生稲作情報 第3報

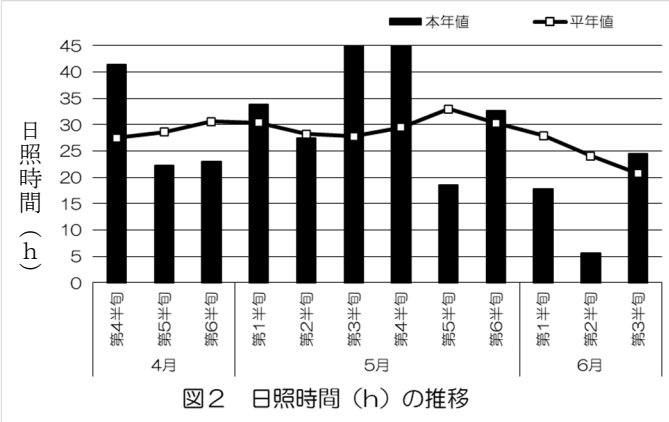
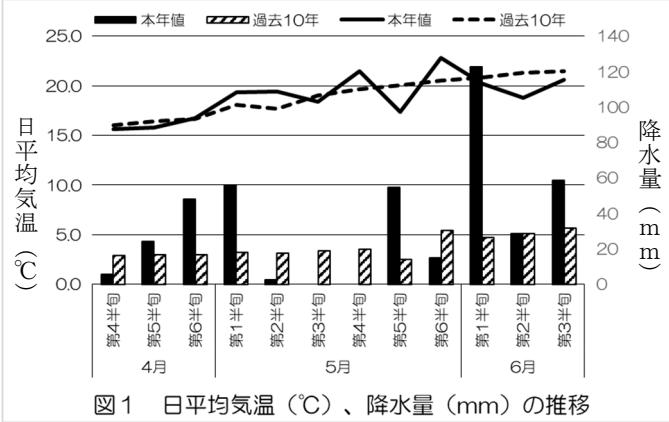
(令和8年6月17日発行)

長生農業事務所 改良普及課
担当：黒住、高内、河田
電話 0475-22-1771

◎長生地域の生育状況

管内の「ふさおとめ」「ふさこがね」は、幼穂形成期に入りました。昨年とほぼ同じ生育進度です。今後は「コシヒカリ」「粒すけ」も幼穂形成期に入ります。

5月下旬から日照が少なく気温が低い傾向が続いており、葉令と茎数の増加速度が鈍化しています。草丈は並からやや長くなっています。葉色は一度淡くなるタイミングになっており、一発肥料を使用している方は今後緩効性窒素が発現してくると思われます。



※アメダス茂原における気象データ。気温及び降水量の平年値は過去10年間、日照時間の平年値は1991年から2020年の30年間。

◎今後の生育管理について

幼穂が確認できたら湛水管理とし、適期に穂肥を施用しましょう。穂肥の適期に入ってきているので、表1を参考に施用してください。

表1 品種別の幼穂形成期予測及び穂肥施用適期の目安（6月17日時点）

品種	植付時期	幼穂形成期予測	穂肥施用適期の目安	施用量 (窒素、加里 の成分量)	砂壤土
					粘質土
ふさおとめ	4月20日	6月13日	幼穂形成期～1週間以内 【幼穂長1mm～1cm】	3kg/10a	
				1～2kg/10a	
ふさこがね	4月20日	6月14日	幼穂形成期～7日後頃 【幼穂長1cm】	3～4kg/10a	
				2～3kg/10a	
コシヒカリ	4月20日	6月21日	幼穂形成期から7日後頃～15 日後頃の間【幼穂長1～8cm】	3～4kg/10a	
	5月1日	6月27日		2kg/10a	
粒すけ	4月20日	6月20日	幼穂形成期～7日後頃 【幼穂長1cm】	3kg/10a	
				2kg/10a	

※1 水稻生育予測システム「でるたTM」(茂原アメダス)による推定値。
2 葉色が濃い場合、草丈が高い場合や茎数が多い場合は、減肥しましょう。

斑点米カメムシ類は畦畔雑草に生息し、出穂後に本田に侵入します。畦畔の草刈りは、出穂2週間前（4月20日植え：ふさおとめ6/24、ふさがね6/25、コシヒカリ7/2、粒すけ7/1）までに終わらせましょう。

4月20日植えのふさおとめ、ふさがねのカメムシ防除適期は7月10～11日頃となります。航空防除実施前に防除適期を迎える場合は、粒剤の活用も検討してください。

出穂後20日間の平均気温が26℃を超えると、**白未熟粒（高温登熟障害）**が多くなります。対策として、出穂期前7～5日に葉色を確認し、葉色が淡い場合は窒素量で上限1kg/10a（多肥による食味低下を防ぐため）の追肥をします。

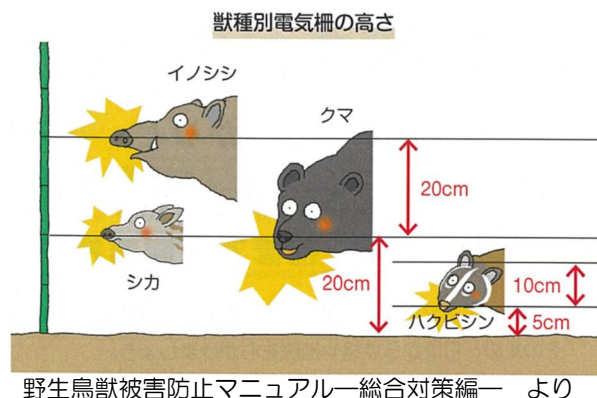
これから注意すべき病害として、いもち病と紋枯病があります。今年は、気温がやや低く、曇雨天が続いていることから、特にいもち病の発生に注意しましょう。紋枯病は高温多湿で発生し、特に風通しが悪いほ場で多発生します。また、両病害ともに多肥栽培は発生を助長します。例年、発生が見られるほ場では、予防のための防除を行いましょう。

薬剤選定に当たっては、千葉県病害虫雑草防除指針（右記QRコード）の水稻の項目を参考にしてください。なお、農薬の使用に当たっては、ラベルを必ず確認して、登録内容を遵守してください。



◎獣害対策について

出穂後、イノシシによる被害が多発します。例年、被害があるほ場では、電気柵等を設置し、常時通電しましょう。イノシシのみの被害であれば、電気柵を20、40cmの高さに張ります。雑草が伸びて電線に当たると漏電して効果が低下します。定期的に電圧をチェックし、草刈りやメンテナンスを行いましょう。



◎「千葉県肥料価格高騰緊急支援事業」の地域説明会について

肥料価格高騰の影響を受けた農業者の皆様に給付金を交付する「千葉県肥料価格高騰緊急支援事業」の募集が始まり、長生管内での申請相談会が下記の日程で開催されます。

日時：7月8日（水） 会場：長生村交流センター講堂（長生村岩沼 874-1）

【開場】14:00 / 【申請受付・個別相談】14:00～18:00

募集期間は6月25日（木）から8月14日（金）まで、給付金額は肥料価格高騰額の1/2 以内で上限10万円です。パンフレット又は右記QRコードから専用ウェブサイト等を必ずご確認ください。

【問合せ先】千葉県肥料価格高騰緊急支援事務局
電話：0120-975-335
平日：9:00～18:00 ※休業日：土・日・祝日

